

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年11月7日（金）13時35分～15時25分
開催場所	島根県立江津工業高等学校
出席議員	石橋 鍛治 河野 森脇 森川 山根 多田 植田好 坂手 下谷 寺前 坂田 植田圭 森元
参加市民数	42名（江津工業高生）
意見交換	<p>■意見交換の概要</p> <p>議員への事前課題（江津の魅力と課題について）をもとに8グループ（人口減少・地域活動×3グループ、地域医療、本市の雰囲気、空き家、本市の方向性、自然資源の活用・田舎であること）に分け、その事前課題に対して、共感・興味を持った生徒4～5名と議員1～2名で班編成を行い、意見交換を行った。</p> <p>■主な意見（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20年前の島根と比べて、ほぼ全ての地域人口が半分以下になっていることに驚いた。 <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が想像以上に進んでいることを実感した。 ・人口が減るとデメリットが大きい。 ・人口減少は避けられないが、スピードを緩める、江津に関わりたい人を増やすという視点に共感した。 ・地域減少が進み、地域行事などが少なくなっていることが分かった。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動が弱くなっていることを実感した。 ・地域活動を強めて、若者が残りたいと思えるようにすることが大事。 ・子どもたちがやりたいと思うイベントを増やした方が良い。 ・課題として、遊ぶ場所がないことが挙げられる。 ・人口が少なくて不便なことも多いが、逆に良いところも少しはあると感じた。 ・良いところは、自然が近くにあることと空がきれいなところ。 ・課題は多いが、少し工夫すれば良くなる点、うまく取り組めていない点が見つかり、良い学びになった。 ・市議さんと考えていることが意外に一緒だと感じた。 ・意見を出す際は、コスト面や人口問題を考慮した上で発言しないといけないと思った。 <ul style="list-style-type: none"> ・江津の医療は主に人手不足が原因で難しくなっている。 ・浜田市にしか子供を産む場所がない。 ・病院の先生が足りず、病院が受け入れできない上に、経営が回らず給料が少ないという悪循環がある。 ・都会と比べると、新しい医療機器が少なかつたり、なかつたりだと感じた。 ・その一方で、最新機器を導入して診断を正確にしているという工夫も見られた。 ・医療は人生をつなぐためのものだと感じた。 ・悪循環を改善するには、市民が病院の掃除をするなどして、病院側

	<p>の負担を減らす方法がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の連携で、一人の患者を複数の機関で担当するやり方が良いと思った。 ・出店を増やしたり、イベントを増やしたりして、都会に出ていく人を減らしてほしい。 ・自然などに手を加え、観光などで誇れるようにすることは大切。 ・江津だけでなく浜田や島根の良さを日本中に伝える。 <p>空き家は人口が増えないと減らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を解体するのに多額の費用がかかるため、そのままにしている人が多い。 ・税金で解体費用を少しでも負担してくれたら良い。 ・空き家でもメンテナンス費用がかかることを知った。 ・コンビニを作るのには様々なデータが必要だと分かった。 ・スクールバスを使って交通手段を増やすという提案に共感した。 ・瓦の家が少なくなっている。地震に耐えられる家を作るべき。 ・江津の市長は直接話すことができる機会が多いと聞いたので、話したいと思った。 ・高校生活は3年間しかないから、その3年間が宝になるような地域活動ができたら良いと感じた。 ・他の市の良いところを取り入れて、改善してほしい。
要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし

令和7年12月15日

江津市議会議長 石橋 孝義 様

広報広聴特別委員会委員長 森元 健二